

高校再編に係る再編実施基本計画について

高校再編推進室

1 概要

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で示した再編統合について、統合新校ごとに開催した「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえ具体的な再編・整備を進めるため、統合新校ごとの再編実施基本計画を決定する。

2 今回策定する再編実施基本計画

中野立志館高等学校と中野西高等学校の再編統合

3 今後のスケジュール

令和6年2月議会定例会において議会の同意を求める事件案を提出予定

(参考)

- 高校の将来像を考える地域の協議会からの意見・提案を受ける
 - ・旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会（令和元年6月～令和2年6月）
- 「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【二次】」を決定（令和3年9月）
- 統合新校ごとに新校再編実施計画懇話会を開催し、「再編実施基本計画」に係る項目についての意見交換をまとめる
 - ・中野総合学科新校再編実施計画懇話会 12回開催（令和3年12月～令和5年10月）

< 主な意見交換内容（再編実施基本計画に係る項目） >

募集開始年度、校地校舎、設置学科、募集学級数、新校の学校像等

中野総合学科新校（仮称）再編実施基本計画（案）

1 再編統合対象校

中野立志館高等学校、中野西高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和 12 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であることと、施設の整備期間等を考慮し、令和 12 年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

中野立志館高等学校

「新校で構想する学び」の実現を第一に考え、学びを支える施設・設備等の学習環境、隣接施設の有用性の観点から中野立志館高等学校の校地・校舎を活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 総合学科 7～8 学級程度

定時制課程 普通科 1 学級

※学科の名称は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

総合学科のシステムを使いながら、持続可能な社会づくりの担い手を育てていくための多彩な教科・科目を開設する。

募集学級数は、旧第 2 通学区の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には 7～8 学級程度が想定される。

現在の中野立志館高校定時制は、中野総合学科新校に移管する。

5 学びのイメージ

別紙のとおり

中野立志館高校の総合学科、中野西高校のユネスコスクール^{注1}の学びを継承し、ユネスコスクールの中心的な学びである ESD（持続可能な開発のための教育）^{注2}をベースにグローバルな人材育成を目指す、地域全体を学びのフィールドとした地域の学びの拠点となる総合学科高校を構想する。

注 1) ユネスコスクール：ASPnet (UNESCO Associated Schools Project Network)

・ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校

注 2) ESD (Education for Sustainable Development)：持続可能な開発のための教育

・人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できる社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動

6 施設整備

新校の学びに必要な施設設備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に要する期間 6 年程度を想定

未来に挑戦するための総合学科高校

目指す学校	○挑戦	様々なことに挑戦し、失敗しても粘り強く取り組む力を育む
	○創造	自己と他者を見つめ、社会と積極的に関わりを持ち、変化に柔軟に対応できる創造力を育む
	○協働	地域から世界まで、幅広い視野を持ち、他者と協働し未来社会に貢献できる人を育てる

総合学科 × ESD (持続可能な開発のための教育)

キャリアデザイン

多彩な科目

探究学習・ESD

○多様な進路希望に対応できる教育課程

- 自分だけの時間割を作成
 - ・キャリアデザイン・ライフデザインに繋がる多彩な系列(科目群)から自由を選択
 - ・大学進学に特化した科目選択も可能
- バラエティーに富んだ学び(系列=科目群)
 - ・普通科目(国語、数学、外国語、芸術等)と専門科目(工業、商業、農業、家庭等)に加え、デジタル(AI、ロボット)、福祉、観光等の現代的な課題にアプローチする学び

○自分の「好き」や「強み」を究める学びを卒業単位として認定

- 単位制の自由度を活かした学校外の様々な取組などを単位認定
 - ・ボランティア活動や長期インターンシップ等の体験的な学び
 - ・英検・漢検などの各種資格取得
 - ・長期・短期の海外留学
 - ・大学生や地域の方とともに取り組む自主的な探究活動
- オンラインの活用等による学び
 - ・大学の講義の受講(先取り履修)、専門学校での体験的な授業や他の高校の授業の履修

○環境、地域の課題や国際理解について地域と協働して取り組むESD

- 地域全体を学びのフィールドとした学習活動
 - ・多様性受容力を高め、学びを深めるための地域共学共創コンソーシアムとの連携(地域の人などを外部講師として活用した授業、地域と協働したフィールドワーク等)
- 異文化理解を深めるための海外との交流や海外留学への支援
 - ・国内外のユネスコスクールとの交流やESD協働学習
 - ・国内外の姉妹校との交流
 - ・地域の教育資源(観光等)を活用した国際交流
 - ・地球規模の課題(平和、貧困・格差等)に取り組むための学校が独自に設定する科目
 - ・信州つばさプロジェクトの積極活用

地域共学共創コンソーシアム



大学・専門学校
幼保小中高



研究・医療
福祉機関

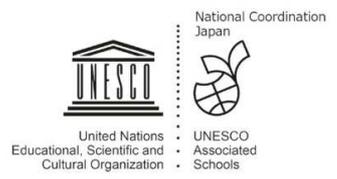


地域産業



自治体

ユネスコスクール



【中野立志館高校の定時制課程は中野総合学科新校に移管】